

市民活動団体 応援コーナー

このコーナーは、毎月1日号で、市内で活動する皆さんの主催するイベントや会員募集を紹介するものです。

掲載申込みの詳細は、市ホームページをご覧ください。

☎広報広聴課 ☎ 983・2620

三島市 市民活動団体応援

6月1日号への掲載の申込みは、4月25日(火)までに、広報広聴課 ko_uhou@city.mishima.shizuoka.jp、
FAX 983・2719

文化

第34回三島書作家協会展

☎4月12日(水)～16日(日)午前10時～午後6時※最終日のみ午後4時まで 生涯学習センター3階市民ギャラリー多目的ホール ☎漢字、かな作品の展示、16日(日)午後2時から同センター前庭筆塚にて使用済の筆に感謝して焼納する「筆塚祭」を開催※参加自由 ☎無料 ☎どなたでも ☎三島書作家協会・久保田 ☎ 975・3195

三嶋曆師の館 市民講座① カレンダーから見た2017年

☎4月15日(土)午後1時30分～3時※申込み不要 ☎三嶋曆師の館(大宮町2-5-17) ※駐車場なし ☎カレンダーから見える2017年までの天文現象、ニュートンやアインシュタイン、またユリウス暦や太陽暦の採用などを楽しくわかりやすく紹介します ☎蒔田裕成(月光天文台・天文主任) ☎三嶋曆師の館 ☎ 976・3088

三島グロリア合唱団・団員募集

☎毎週木曜日午後7時～9時 ☎市民文化会館リハーサル室、生涯学習センター3階など ☎平成30年1月21日(日)の定期演奏会に向け、バッハ作曲のクリスマス・オラトリオを練習 ☎入団費3,000円、月4,000円(学生2,000円) ☎高校生以上 ☎ ☎土山 ☎ 972・2291

ことば館まつり

☎4月29日(土・祝)～5月21日(日)※月曜休館 ☎大岡信ことば館(文教町) ☎さまざまなイベントを開催します ☎各イベントにより異なります ☎大岡信ことば館 ☎ 976・9160

0歳からのピアノコンサート

(赤ちゃんから大人まで楽しめます)

☎5月5日(金・祝)午前10時30分～11時30分 ☎みしまプラザホテル2階「プロヴァンスの九月」 ☎ピアニスト海瀬京子によるコンサート ☎大人(高校生以上)1,500円、子ども(中学生以下)無料 ☎大人・子ども各100人(自由席) ☎ ☎みしまプラザホテル ☎ 972・2121

スポーツ・健康

陸上競技に興味のある 市内の小学生募集

☎5月31日(火)まで ☎場御園グラウンド ☎練習は週に1、2回。走る基本から指導します。年間を通じて競技会に出場します。 ☎小学1～6年生 ☎年12,000円 ☎西尾 ☎ 947・2838 ※午後7時～9時

硬式テニス教室 参加者募集

☎4月19日(水)～7月19日(水)午後7時～9時※全10回 ☎場錦田テニスコート ☎定25人※応募多数時抽選 ☎一般 ☎9,000円(保険料含む) 開催初日に支払い ☎ ☎4月17日(月)までにNPO法人三島市体育協会 ☎ 981・0200

なぎなたスポーツ教室 参加者募集

☎4月22日(土)から午後2時～4時※全10回 ☎市民体育館剣道場 ☎なぎなたの基本動作、形 ☎大人4,000円、高校生以下2,000円※スポーツ保険料含む ☎小学生から一般 ☎ ☎三島市なぎなた連盟・勝又 ☎ 090・6335・3058

バドミントン教室 参加者募集

☎5月12日(金)～8月24日(日)午後7時～9時(全12回)※初回のみ金曜日 ☎市民体育館 ☎5,000円(保険料含む) 開催初日に支払い ☎中学生以上 ☎定30人※応募多数時抽選 ☎ ☎4月21日(金)までにNPO法人三島市体育協会 ☎ 981・0200

アーチェリー春季初心者講習会

☎5月14日(日)～6月4日(日)(毎週日曜日)午前9時30分～正午(全4回) ☎場

市民体育館弓道場 ☎3,000円 ☎中学生以上 ☎定先着6人 ☎タオル、帽子、飲み物、印鑑(シャチハタ不可) ☎ ☎4月30日(日)までにアーチェリー協会・大木 ☎ 975・2949

初心者のための合気道教室

☎毎週火曜日午後7時～9時、第1日曜日・第3日曜日午前9時30分～11時30分 ☎市民体育館柔道場 ☎合気道、護身の基本、精神修養 ☎月1,000円 ☎中学生以上 ☎運動できる服装、柔道着、空手着など ☎稽古日時に市民体育館柔道場 ☎石渡 ☎ 090・7915・1979、飯田 ☎ 090・5600・0487

その他

国際ソロプチミスト伊豆天城

「ユース・フォーラム」学生選考会

☎5月14日(日)午後1時～3時 ☎テーマ「夢を拓くー教育は世界を変えるー」に沿った論文提出※1200字程度 ☎女子高校生(国籍不問) ☎4月28日(金)までに ☎411・0044 徳倉5・9・57 ☎梶谷純子 ☎ 987・6960

ニューヨーク州立ストーニーブルック 大学・学生のホストファミリー募集

☎5月28日(日)～6月25日(日) ☎朝食・夕食、個室を提供でき、学生を家族の一員として受入れることのできる家庭 ☎定20家族(予定) ☎4月20日(日)までに「日本大学国際関係学部ホストファミリー」で検索 ☎日本大学国際関係学部教務課国際教育センター ☎ 980・0962

ボーイスカウト三島第5団 スカウト募集中

☎月2回程度(週末) ☎まどろみ公園(東本町)を中心に活動 ☎将来自律できる社会人を育てるための活動です。指導者は専門の研修を受けたボランティアです。※見学随時受付 ☎月1,500円、年間登録費4,700円(保険料含む) ※その他キャンプ、スキーなど実費 ☎6～25歳 ☎ ☎鈴木 ☎ 090・7439・2325

企画展「三四呂人形—これまでと、これから—」
は、5月28日(日)まで開催しています。

歴々の小箱

No.347

郷土資料館の企画展

「三四呂人形」
「これまでとこれから」
より「桃子」「里子」「磯」



▲桃子(左)と里子(右)

三四呂人形は三島出身の人形作家野口三四郎(一九〇一〜三七)によって作られ、子どもを題材にした作品が多数あります。人気があるのは「桃子」と「里子」で、高さ十cmほどの愛らしい張子(和紙)の人形です。一人娘桃里ちゃんの名前から「桃」と「里」をとり、「桃子」は生後五〜六カ月くらいで、わずかに首をかしげながら、周囲を見つめています。「里子」はお座りできる一歳ころで好奇心あふれたまなざしが印象的な様子です。父親の愛情が込められた作品は八十年たった今も周囲を暖かく照らします。

また、庶民の家族を題材にした作品の一つが「磯」です。大漁の魚を背負う父親、魚がずっしり入った網を担いだ母親、両親の間で、嬉しそうに魚を手にしやぐ子ども。ほほ裸で満足気に砂浜を歩く親子三人を三四郎は牧歌的に描写し、優れた張子作品に仕上げられています。

当時、東京に住む三四郎のもとで手伝いをしていた妹の故・渡辺ちるさんの話では、三四郎は何日も千葉県の九十九里浜へ取材に行き、この作品を作り上げたといっています。昭和七年(一九三二)〜十一年(一九三六)の間の制作と推定されます。この作品はロマン主義の画家として有名になっていた青木繁(一八八二〜一九一一)の絵画「海の幸」(重要文化財、ブリヂストン美術館蔵)や「漁夫晩帰」(ウツドワン美術館蔵)の影響を感じます。

「海の幸」は、千葉県館山市布良の海岸で取材した作品で、マグロを担いで海辺を行進する十数人の裸の漁師たちが荒々しいタッチで勇ましく描かれています。「漁夫晩帰」は、豊漁の網を担いだ裸の漁師二人としま模様を着物の女性二人、裸の男

の子が、夕日の海を背に家路に向かっている家族のようです。同じ漁師でも三四郎と青木繁は表現方法は異なりますが、繁から始まるロマン主義的絵画の影響は、その没後二十年后には創作人形の世界にも及んでいたのです。



▲「磯」満足気に砂浜を歩く親子三人(庶民の家族を題材にした作品の一つ)

三四郎には、このほか晩年の傑作「春日だんらん」(三嶋大社宝物館蔵)という親子五人と犬と鶏が仲良く並んでいる暖かな家族を描写した張子作品も残っています。実は、妻しげさんを二十五歳の若さで亡くし、翌年桃里ちゃんを三歳で失い、自身も胸を患う苦難の人生でしたが、彼の作品には、子供や家族への強い思いが優しくあふれています。

ぼくのわたしの
おじいちゃんおばあちゃん

私のおじいちゃんは、とても元気です。平日は、大好きなグラウンドゴルフをやっています。毎日練習をしているので、大会で入賞し、新聞に載ったこともあります。ほかにも庭の手入れをしてくれています。おかげで家の周りは、とてもきれいで、家族みんな気持ちよく過ごせています。

私は、人のために働くおじいちゃんが大好きで、尊敬しています。これからもグラウンドゴルフや庭の手入れを毎日続けて、元気に長生きしてほしいです。

※それぞれのお名前は直筆です。



藤田秀明(73歳・竹名)
村越祐衣(錦町)